

※この情報紙は市民からの公募による編集委員によって作成されています。
女性 (Female) と男性 (Male) がともに支え合い、対等な立場で社会 (Society) を形成することを願って!!
第25号 企画課 男女共同参画室 (内線 2156)

ちがいを認め、生きやすい社会へ

テレビや新聞、インターネットなどで「LGBT」という言葉を聞いたことがある方は多いのではないのでしょうか。「LGBT」とは、4つの単語の頭文字をつなげた、**セクシュアルマイノリティ(性的少数者)**の総称として使われることもある言葉です。この言葉は、「**どんな性別の相手を好きになるか (= 性的指向)**」や「**自分の性別をどう認識しているか (= 性自認)**」などといった性別に関する内面的な部分について表す言葉で、世界中で使われています。

編集協力：スクランブルエッグ
青森県内でセクシュアルマイノリティや性の多様性について知ってもらうための活動をしている市民サークル

L esbian [レスビアン] 女性同性愛者	G ay [ゲイ] 男性同性愛者	B isexual [バイセクシュアル] 両性愛者	T ransgender [トランスジェンダー] 性別に違和感のある人
--------------------------------------	-------------------------------	--	--

日本では、**7.6%** (約13人に1人) いるという調査結果があり、学校で例えると、クラスに2~3人いる割合になります。

7.6%は東北6県の総人口よりも多い

(出典：電通ダイバーシティラボ「LGBT調査2015」)
「でも、LGBTは自分の周りには一人もいない。」と思いませんか？それは、「社会の性別は男と女であり、性はこうあるべき」という固定観念があるからではないのでしょうか。社会生活の様々な場面で差別や偏見が日常的にあるため、いまだに多くの人が周りに言い出せずに苦しんでいます。



レインボーフラッグ
「多様性」を表しており、世界中でLGBTの象徴となっています。

最近では、国や県、市区町村、企業、テレビなどで理解が、少しずつ着実に進み、様々な制度ができつつありますが、社会のあらゆる面でまだまだ困難は続いています。

■LGBTだけじゃない、性の在り方について

一般に性別と聞くと、外見から見た「男性」、「女性」を思い浮かべますが、性には

- ① 身体の性
- ② こころの性
- ③ 好きになる性
- ④ 表現する性

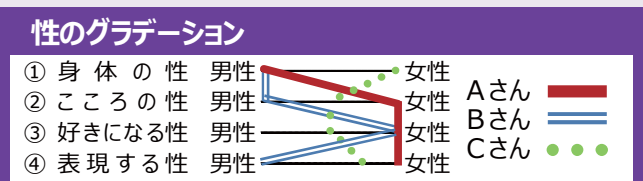
の4つの要素があると考えられています。

この4つが組み合わさることで、**セクシュアリティ(性の在り方)**が構成されます。

性は人の数だけあり、**グラデーション**のようなものです。例えば、右の図のAさんについて、生まれ

たときの①身体の性は男性、②こころの性は女性、③好きになる性は女性で、④表現する性は女性です。

また、異性愛者で性別違和のない男性は、Bさんのように表すことができます。



最近では「**SOGI**」(Sexual Orientation and Gender Identity「性的指向と性自認」)という言葉で、全ての人に関係があることを表現しています。

ライフステージによって直面する困りごと



大きく変わりつつある国内外の環境

- アメリカでは…米連邦最高裁判所は2015年、同性婚は合衆国憲法上の権利であると認める判決を下し、事実上同性婚が認められました。
- 国内では…2015年国会議員が、LGBTに関する課題を考える議員連盟を超党派で結成し、さらに2017年には、性的少数者の当事者と支援者の地方議員で作る「LGBT自治体議員連盟」が発足しました。

- 自治体では…20歳以上の同性カップルを結婚に相当する関係と認める、「パートナーシップ制度」を導入する自治体が増えました。(現在までに6自治体)
- 民間企業では…2013年の男女雇用機会均等法の改正により、LGBTに対する差別的な言動や行動についても、ハラスメント(嫌がらせ)であるということが認められ、職場での対応が義務づけられました。また、社内やサービスで、同性パートナーを配偶者として認める企業もあります。死亡保険金の受取人に指定できるようになったり、携帯電話などで家族割引の対象にしたりする例があります。
- 東京オリンピック・パラリンピックでは…2014年、オリンピックの基本原則などを示したオリンピック憲章に、性的指向によるいかなる差別も禁止する内容の文言が盛り込まれ、大会の準備・運営段階で調達するすべての物品は、権利侵害のないものを提供することが求められています。

「男性と女性だけで二分すること」「異性を好きになること」だけが普通なのではありません。生活や人生が人それぞれであるように、人間の性も本来多様なものです。周りの人が少しでも理解していれば、LGBTも暮らしやすくなります。そのためには区別することなく関心を持ち、正しく知ったうえで、ちょっとした気遣いをするのが大切ではないでしょうか。それが、多様性を受け入れる第一歩となるはずです。

それぞれの違いを尊重し、認め合い、誰もが生きやすい世の中にしていきましょう。

LGBTに関する相談や活動について(一部の機関です。)

【相談機関】厚生労働省 よりそいホットライン
電話 0120-279-338

【県内活動団体】スクランブルエッグ
HP <http://gochamazetamago.main.jp/>

編集後記

LGBTについてなんとなくわかってはいたつもりでしたが、正しい知識がなかった。会議を通して、基礎的な話と正しい理解の必要性を感じた。(K)

★★★編集：さんかく編集委員6名★★★